

校長通信 調和

発行
校長 寺島克彦
〒384-0023
小諸市東雲4-1-1
TEL 0267-22-0216

題字 渡邊虚舟

《令和元年度 一学期終業式》

令和元年度の1学期、皆さんにとっては、どんな四か月だったでしょうか。

私は、小諸高校生の令和元年度1学期の活躍を見ながら、校長として、また、この校舎で一緒に学ぶものとして大変誇らしく、嬉しく思うことが沢山ありました。

部活動での活躍。生徒会行事に懸命に取り組む姿。真剣に学ぶ学習態度。様々な場面で、誇らしい小諸高校生の姿を見せてくれました。

今月の文化祭では、執行部を中心に生徒会役員や三年生が一丸となって全校生徒と本校を訪れていただいた皆さん全てが楽しめる文化祭を運営してくれました。

展示発表では、書道部、美術部、写真部、漫画研究会の皆さんの力作が目を引きました。舞台では、演劇、ミュージカル、軽音楽のコンサート、邦楽部、オーケストラ、合唱、吹奏楽と、どれをとっても高いレベルのパフォーマンスで、皆さんが披露してくれた作品に感動するだけでなく、皆さんの努力に感動しました。

さて、皆さんはそんな多くの活動の中で、学んだことは何ですか。

知識や教養、対話の大切さ、コミュニケーションなどなど。

沢山あると思いますが、あなたは何を学びましたか。

野岸祭実行委員長の小崎君に今年の文化祭について訊いてみました。

「委員長の仕事は大変でした。どうやったら良い文化祭になるのかすごく考えました。でもそれより、周りのみんなが頑張っているの、自分も頑張らなきゃと思えたし、みんなも予想以上に盛り上げてくれて、とても満足しています」



(野岸祭・中庭装飾)

私が思うのは、皆さんが共通して学んだことは、「頑張ること」つまり「忍耐(がまんする)して努力する」「困難や障害に負けないで精一杯努力する」ことだったのではないのでしょうか。



一学期、りっぱな壮行会を何度も開いてくれました。応援委員長の尾沼君、副委員長の清水君たちの掛け声とともに皆さんで発した言葉「頑張ってください」これを学んだのではないのでしょうか。

もちろん、頑張るためには主体性が必要です。誰かに頼るのではなく、出来ないことを他人のせいにする事なく、自ら考えて自ら行動すること。その意欲を無くしては頑張ることはできません。

このところ、世の中全体を見ると、何となく頑張ることが薄れているような気がしますが、どうでしょうか。

AIのおかげで、考えなくても、できてしまう。私たちが欲する情報も、安易に、わかりやすく感じるように手にすることが出来てしまいます。

そのため、私たちは、何事にも「わかりやすさ」や「簡易さ」「てがるさ」ばかり求めてはいないでしょうか。その逆に、自身がわかりにくいこと、出来ないことを他者のせいばかりにしていないでしょうか。

安易に手に入り、分かりやすそうな情報にばかり目がいきってしまい、ニュースも紙の新聞は読まずに、ネットの記事の見出しだけで、知ったようになってしまっていないでしょうか。



《インターハイ出場生徒小諸市長表敬訪問》
(犬飼楓さん、堀内真瑚さん、堀内希莉さん)

得られた情報を鵜呑みにして、フェイクニュースが瞬く間に拡散してしまう。真っ先に報道される情報に踊らされ、間違った認識を大多数が持ってしまいがちな現在。

ニュースの解説で有名な池上彰さんは「わかりやすさの罠」と言っています。そして、その罠にはまらないようにするためには「知る力」を身に付けることだ。と書いています。(『わかりやすさの罠』集英社新書)

この一学期、活躍した皆さんは、既にどうしたら「知る力」の身に着けることができるか、は知っているはずです。

「頑張ること」「多少苦痛を伴いながらも、頑張らなければ本物を知ることはできないこと」そして、結果として、目標を達成できた皆さんは、さらにその分野での力を高めるには「何をどうやって頑張れば良いのか」を身に着けているはずです。

今年から、朝読書を始めました。本を読むのも、頑張ることが必要です。読むことに慣れないうちは、どうしても苦痛が伴います。専門的な情報を読み取ろうとするには「頑張ること」が必要なのです。

未だ、読むことが苦手だという人は、齋藤 孝 明治大学教授が書いている『読書する人だけがたどり着ける場所』を読むことをお勧めします。また、どんな本を、どうやって読めばいいのかも記されています。参考にしてください。

3年生はこれから進路決定に向けての面接や試験が始まりますが、齋藤教授は、「1テーマ5冊読めば、ランクAだ」と書いています。あるテーマについて知りたい場合は続けて5冊読むと、そのことについて「けっこう詳しい、Aランク」になれる、と言っています。「スーパー詳しい」になるには20冊と書いていますが、とりあえずは、5冊にチャレンジしてみませんか。頑張ってみませんか。

この夏休み、皆さんそれぞれが、これまで培った、小諸高校生が持つ「労を惜しまない」「頑張る力」を発揮して、皆さんの目標を掴むための充実した時間となることを期待しています！



(野岸祭・プライスレス祭)

保護者の皆様へ

《長野県を代表する活発な取り組み(北信越・野岸祭バザー・校内整備)に感謝申し上げます》

7月4日(木)・5日(金)にホクト文化ホールを会場として開催された「北信越地区高等学校PTA連合会・研究大会」におきましては、運営から、研究発表まで、本校PTA役員の皆様には大変ご活躍いただき、北信越各県の参加者からも高い評価をいただきました。

研究発表にあたっては、一昨年から、清水貴弘・前会長(現顧問)を中心にICTを駆使した見事な資料を作成いただき、当日は吉村美智子会長の素晴らしいプレゼンテーションで、参加者の注目を集めていました。

これまで、何度も学校に足を運んで準備していただき、また当日はお忙しい中、全日程にご参加いただいた本会役員の皆様に心から感謝申し上げます。

さらに、大会翌々日、7月7日(日)の野岸祭でのPTAバザーには、多くの会員の皆様方から物品を提供いただき、当日は数多くの役員の皆様方にご苦勞いただきました。あいにくの雨の中でしたが、例年並みの売り上げをいただき、ご寄付いただきましたこと重ねて心より感謝申し上げます。